

ご案内

光円寺 パソコン教室（修理、相談も） 毎月・第三火曜日

十二月二十一日（火）午前十時〜 参加費 五百円（パソコン持込）

光円寺 第十九回 選択本願念仏集を読む会

十二月二十日（月）午後七時半〜 講師：玉光真人さん

「弥陀如来、余行をもつて往生の本願としたまはず。ただ念仏をもつて往生の本願としたまへるの文」

光円寺 山の家 冬季休止 天気の良い日に行けたらなく

光円寺 同朋会 「仏説阿弥陀経に学ぶ」

十二月二十八日（火）午後二時〜四時 お経「仏説阿弥陀経」

お話し・座談 お経の練習もしています。初めての方も是非！

光円寺 除夜の鐘を撞こう・修正会

十二月三十一日（木）午後十一時四十五分〜

辛党の人は「お酒」 甘党の人は「せんざい」をどうぞ。

一月一日（金）午前十二時十五分〜 本堂で正信偈唱和

還相社会学研究会

十二月二十三日（木）午後五時〜七時 参加費

姫路・山陽教務所 講師 梶原敬一さん

真宗カウンセリング研究会

十二月二十五日（土）午後三時〜六時 参加費 千円

発題：・北野真代さん 講義：・村山實さん 梶原敬一さん

ドキュメンタリー映像作家の西山正啓監督が①③の上映会をしてその収益を映画「魔法のナイフ」の支援にと提供されます。前田さんは小さなグループでも見てもらえるようにとカンパで貸し出されます。（目安として一週間の貸し出し最低カンパ10000円）お気軽に、お問い合わせください。

①「チビチリガマから日本国を問う」（2010）

②「梅香里（メヒヤンニ）」（2001）

③「ベトナムに生まれて〜枯れ葉剤を浴びた村から〜」（1999）
メールでの申し込み rahouno9@yahoo.co.jp 前田真吹さん

編集後記

先日映画「いのちの山河」の上映会があり、観賞して来ました。岩手県・沢内村で50数年前に実際に行なわれた「いのちの行政」の映画でした。

一年の内の半分は豪雪に閉じ込められたしまう沢内村。そこでの人々の暮らしは貧しく、乳幼児の死亡率は高く、老人の自殺も多く、そんな現状が当たり前になってしまっていた村民に対して「生命尊重の行政」を掲げて、全国に先駆けて60歳以上の老人の医療の無料化を実現し、乳児の医療も無料化する。そして、全国初・年間で乳児の死亡0ということ成し遂げる。その遺業の元には『対話と行脚』という人間関係を結ぶ基本がありました。その中心にいた人が深澤晟雄（ふかさわまさお）という人でしたが、その深澤さんと歩んだ人が、1921年生まれ・真宗大谷派の碧祥寺住職の太田祖電さんで、今も健在です。沢内村村長の深澤さんが志半ばで亡くなられ、その後を引き継いで20年間村長をされたそうです。この「いのちの山河」という映画では、深澤晟雄さんが亡くなったところまでですが、「いのちの格差は絶対に許せない!!!」と：深澤さんは叫んでおられます。その『生命尊重の行政』！それは「憲法25条」に照らしながら推し進められたのです。村政を行なう基本は、その後を受け継いだ祖電さんにも引き継がれていて、それは、今も沢内村に「脈々と流れている」のです。それはその村の今をとった、ドキュメンタリー映画「いのちの作法」に映し出されています。こんな『願い』を持って行政を動かしてきた人があった。その「事実」に感動もんでした！深澤さん祖電さん共に「真宗門徒」として念仏の縁の深い人たちです。ここに何か人間が生きて往く方向が示されているように、感じました。

（明）

今年の報恩講は、尊い経験でした。三月に教師の学校を卒業してしまつて、僧侶としてどうお寺で生きるのかを問われました。坊守の仕事が十分できていない上に、僧侶として：。そんな時、不思議とご縁が重なり、これまでで来ていたことが出来なくなつて、皆さんにSOSを出したら、みんなが助けてくれて、いつも以上に大変な中、なんか不思議にするすつと出仕させていただきました。報恩講でKさんがご自分の体験を話すと、言つて下さったことに励まされて、私も少し感話する決心をしたり。それに前後して速夜参りもさせていだいたり、なんとお通夜にお参りさせていただきました。本当に様ざまな方、そして亡くなられた方が私を歩ませて下さったことに、しみじみと感じ入りました。なむあみだぶつ（惟）